Creative Enzymes®

ネイティブエリスリナ spp t-プラスミノゲンアクチベーター阻害剤

Cat. No. NATE-0878

Lot. No. (See product label)

はじめに

明	プラスミノーゲンアクチベーターインヒビター-1（PAI-1）、内皮プラスミノーゲンアクチベーターインヒビターまたはセリンE1としても知られる、はヒトにおいてSERPINE1遺伝子によってコードされるタンパク質です。PAI-1はセリンプロテアーゼインヒビター（サーピン）であり、組織プラスミノーゲンアクチベーター（tPA）およびウロキナーゼ（uPA）の主要な阻害因子として機能し、プラスミノーゲンの活性化およびしたがってフィブリン溶解（血栓の生理的分解）を行います。それはセリンプロテアーゼインヒビター（サーピン）タンパク質（SERPINE1）です。
用途	組織プラスミノーゲンアクチベーター（血栓症）などのセリンプロテアーゼを抑制し、メラノーマ細胞からt-PAをアフィニティ精製するため。
別名	t-プラスミノーゲン活性化因子阻害剤; tPA阻害剤

製品情報

種	エリスリナ属
由来	エリスリナ属の種子
形態	凍結乾燥粉末
活性	> 700 U/mg タンパク質
単位定義	一単位の抑制活性は、ETPAIのフルオロメトリック単位を50%抑制する inhibitor の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°C